

◆発注関係事務に関する『地域独自指標』（工事）

必ず実施すべき事項										実施に努める事項																		
指標項目	①予定価格の適正な設定		②歩切り根拠 (全ての工事 で歩切りな し)	③予定価格の 原則事後公表		④施工時期の 平準化	⑤適正な工期 設定	⑥適正な設計 変更	⑥適正な設計変更	①ICTを活用した 生産性向上	②工事の性格等に応じた 入札契約方式の選択・活用				③見積りの活 用	④余裕期間制度の活用		⑤受注者との情報共有、 協議の迅速化						⑥発注見通しの 統合・公表				
	最新見積算基 の適用	最新の労務単 価等の適用 (年度途中に 改訂があった 場合は見直す)		事後公表としている、または、 事前公表の場合でも、適 否について十分検討し、建設 業者の技術力や経営力による 適正な競争を損ねる弊害が生 じないよう適切に取り扱って いる	発注見通し情 報の共有化 (地盤発注見 通し情報への HPリンク)	施工に必要な 日数の設定 (準備・後片 付け・雨天・ 休日等不稼働 日等の考慮)	施工条件の変 化等に応じた 適切な設計変 更(精算変更 (請負代金額 や工期の適切 な変更)の実 施)	設計図書に「設計変更ガイド ライン」等の明示を行い、施 工条件の変化等に応じた適切 な設計変更が行えるようにし ている		ICT活用工事の発注 基準等を定め、ICT 活用工事を発注してい る	総合評価落札方式の実 施基準等を定め、総合 評価落札方式を導入し ている	工事成績評定の基準等 を作成し、工事成績評 定に取り組んでいる	不調・不満等 の場合の見積 り活用方式の 導入	実工期を柔軟に設定できる 余裕期間制度を活用してい る	ワンデーレス ポンスを実施 している	設計変更審査会を実 施している	三者会議を実 施している	中長期的な工事の発 注見通しとして、各 事業の進捗状況を公 表している										
状況	達成	達成	達成	継続		達成	達成	達成	継続	新規	継続		継続		達成	継続		継続		継続			継続		継続	新規 (四国地域のみ)		
評価の仕方				実施 状況	備考 (補足説明等)				実施 状況	備考 (補足説明等)	実施 状況	備考 (補足説明等)	実施 状況	備考 (補足説明等)	実施 状況	備考 (補足説明等)		実施 状況	備考 (補足説明等)	実施 状況	備考 (補足説明等)	実施 状況	備考 (補足説明等)	実施 状況	備考 (補足説明等)	実施 状況	備考 (補足説明等)	
					※事後公表以外の場合は「事前公表」、「総合評価方式は事後公表としている」など状況が分かるよう記載							※実施している項目を記載 例：ICT土工、3Dレーザースキャナなど		※口の場合、実績年度を記載 例：○年度実施														
				×	未公表				×	明示していない	×	未実施	×	基準を定めていない	×	基準は定めておらず、工事成績評定も導入していない		×	未実施								×	未実施
				△	公表しているが弊害が生じている				◎	明示している	△	発注基準は定めているが、未発注	△	基準は定めているが、対象工事が無い	△	基準は定めているが、工事成績評定は導入していない		△	試行工事を実施	△	一部未実施の工事がある					△	今後実施予定	
				◎	実施している					◎	発注基準を定め、ICT活用工事を発注している	◎	基準を定め、対象となる工事があれば導入している	◎	基準を定め、工事成績評定も導入している		◎	対象工事で制度を活用している	◎	対象工事で実施している					◎	実施済み		
R6年度までの目標				全機関：◎					全機関：◎	全機関：◎	全機関：◎	全機関：◎	全機関：◎	全機関：◎		全機関：◎		全機関：◎		全機関：◎						対象機関：◎		
備考				※なお、適切な技術力や経営力を持った建設業者が適切に受注できる環境をつくるためにも、予定価格の事後公表の検討も行う。					※各自治体ごとの「設計変更ガイドライン」を策定するよう努める。	※発注方式は「発注者指定型」、「受注者希望型」どちらでも良い。 ※備考欄には実施した項目を記載。																		
				R5実績値 ◆100%					R5実績値 ◆86.7%	R5実績値 ◆9.7%	R5実績値 ◆70.8%	R5実績値 ◆71.7%			R5実績値 ◆32.7%		R5実績値 ◆90.3%									R5実績値 ◆—		

※達成項目については、引き続き継続して取り組んで行くこと。

必ず実施すべき事項										実施に努める事項															
指標項目	①予定価格の適正な設定		②歩切り根拠 (全ての工事 で歩切りな し)	③予定価格の 原則事後公表		④施工時間の 平準化	⑤適正な工期 設定	⑥適正な設計 変更	⑦適正な設計変更		⑧ICTを活用した 生産性向上		⑨工事の性格等に応じた 入札契約方式の選択・活用				⑩見積りの活 用	⑪余裕期間制度の活用		⑫受注者との情報共有、 協議の迅速化				⑬発注見通しの 統合・公表	
	最新の見算基 準の適用	最新の労務単 価等の適用 (年度途中で 改訂があった 場合は見直し する)		事後公表としている、または、事前公表の場合でも、適否について十分検討し、建設業者の技術力や経営力による適正な競争を損ねる弊害が生じないよう適切に取り扱っている	発注見通し情報 の共有化 (地盤発注見 通し情報への HPリンク)	施工に必要な 日数の設定 (準備・後片 付け・雨天・ 休日等不稼働 日等の考慮)	施工条件の変 化等に応じた 適切な設計変 更(精算変更 (請負代金額 や工期の適切 な変更)の実 施)	設計図書に「設計変更ガイド ライン」等の明示を行い、施工 条件の変化等に応じた適切な 設計変更が行えるようにしてい る	ICT活用工事の発注 基準等を定め、ICT 活用工事を発注してい る	総合評価落札方式の実 施基準等を定め、総合 評価落札方式を導入し ている	工事成績評定の基準等 を作成し、工事成績評 定に取り組んでいる	不調・不満等 の場合の見積 り活用方式の 導入	実工期を柔軟に設定できる 余裕期間制度を活用してい る	ワンデーレス ボーナスを実施 している	設計変更審査会を実施 している	三者会議を実施 している	中長期的な工事の発 注見通しとして、各 事業の進捗状況を公 表している								
愛媛県				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		◎	ICT活用工事実施要領を策定し、ICT活用工事を施工中	◎		◎			◎	◎			◎			
松山市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		◎	建設現場における遠隔臨場に関する試行要領を策定し、発注している。	◎		◎			◎	◎			◎			
今治市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎	今治市工事請負契約に係る設計変更ガイドラインに基づき変更	◎	県要領を準用しR6年4月以降の対象工事から適用	◎		◎			◎	◎			◎			
宇和島市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		×		◎		◎			◎	◎			◎			
八幡浜市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		×		◎	実施基準等は定めているが近年の実績はない。		◎			×	◎			◎		
新居浜市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		×		◎		◎			×	◎	×			◎		
西条市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎	ガイドラインを策定し、適切な設計変更の実施に努めている。設計図書への明示は検討中。市HPに掲載し公表済み。	◎	建設現場における遠隔臨場に関する試行要領を策定	◎		◎			×	◎	×			◎		
大洲市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		×		◎		◎			×	◎	対象工事 で実施	◎	設計変更が基準額を超える工事 で実施	△	一部 工事 で実 施して いる	
伊予市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		◎		◎		◎			◎	◎		◎		◎		
四国中央市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		×		△		◎			◎	◎	R5年 度より 実施	◎	設計変更について受注者と協議する場を必要に応じて設けている		◎	
西予市				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎		×		◎		◎			◎	×	×		×			
東温市				◎	指名競争入札は事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。				◎	ガイドライン策定済みだが、設計図書への明示は行っていない。	◎	建設現場における遠隔臨場に関する試行要領を策定し、発注している。	◎		◎			◎	◎		◎		◎		

上島町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎		×		◎		◎			◎		◎		◎	対象案件が無かったが、実施出来る体制は整っている	◎			
久万高原町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎		△	ICT活用工事実施要領を策定したが、ICT活用工事の発注には至っていない	◎		◎			◎		◎		◎	設計変更について受注者と協議する場を必要に応じて設けている	◎			
松前町				◎	事後公表			◎		×		◎		◎			×		◎		◎	設計変更の妥当性等について受注者と協議する場を必要に応じて設けている	◎			
砥部町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎		×		◎	基準は定めているが近年実績は無し。	◎			×		◎		◎	設計変更の妥当性等について受注者と協議する場を必要に応じて設けている	◎			
内子町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎		×		◎		◎			×		◎		×		◎			
伊方町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎		×		◎		◎			×		◎		×		×			
松野町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎		×		◎		◎			×		◎		×		◎			
鬼北町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎	R6.4月策定し、適切な設計変更に取り組んでいる。設計図書への明示は検討中	◎	R6.4より運用	◎		◎			◎	R6.4より運用	◎		◎	R6.4より運用	◎			
愛南町				◎	事前公表だが弊害がないよう適切に取り扱っている。			◎		◎	R6.4月から要領を策定し運用開始している。	◎		◎			◎	R6.4月から要領を策定し運用開始している。	◎		◎	設計変更の妥当性等について受注者と協議する場を必要に応じて設けている	◎			